

みどりのこころ

2022
春号
No.64

発行 長野県環境保全研究所
令和4年(2022年)3月20日

編集 長野県環境保全研究所 自然環境部(飯綱庁舎)
〒381-0075 長野市北郷 2054-120
TEL.026-239-1031 FAX.026-239-2929
E-mail:kanken-shizen@pref.nagano.lg.jp

「秋の七草」が咲く峰の原高原。草原には春から秋までたくさんの花が咲き乱れる。

古来の草原を花咲く野原に

文・写真 福永 一美

峰の原(須坂市)は、花の百名山-根子岳(標高2207m)の中腹に広がる標高1500m前後の高原で、全域が上信越高原国立公園です。日本一標高の高い雲の上のペンション村に一軒目が建ったのが1974年。現在は50軒ほどが営業しています。ここは古くは草(肥料や牛馬の飼料)やワラビ、薪等の採取場でした。その後も地主の方々が山林や草原の管理を続け、そこに、峰の原に魅了されたペンション主や自然好きが加わり、自然と景観の地道な維持活動が続いてきました。

そんな土台があって私たちが高原の自然と景観保全のネットワークMiNe(マイン:Minenohara Network)を立ち上げたのが2003年。しかし、やっとなかが見え始めた頃、峰の原に惚れ込み毎日のようにコツコツと活動をリードしてきた方が急逝。残された私たちは、花が増えてきた草原や整備された遊歩道を前にして、何かから手をつけて良いの

かわからないけどこのままにはできない、という思いで手探りの活動を進めることになりました。

人はありとあらゆる「境」をつくるけど、そんなことは自然には通用せず、私たちの活動も「これはここまで。こちらは正しくあればダメ」などと勝手に線引きできないものばかり。目先だけを見ていては相手にされない。でも、そこが自然の魅力でもあります。

そんなことに気づかせてくれたのはマインの活動だけでなく、熱帯林保全活動をする遠い国の方々との交流でした。彼らの見ている自然、時間を体験させてもらったおかげで、いま足元にある峰の原の自然とこうしてつきあえるのだろうと感謝しています。

さて、今日も高原散歩にでかけましょ!

(ふくながかずみ/MiNe代表・ペンションふくなが)



Contents

【巻頭言】古来の草原を花咲く野原に(福永一美/MiNe代表・ペンションふくなが) …	1
【Information】これからどうなる~外来種コクチバスと在来魚たちの変わりつつある関係 …	2
気候変動適応を推進するための情報デザイン …	4
【コーヒーブレイク】小さなネズミから覗く世界 …	6
【みどりのフカヨミ】フナの花見でクマの出没を予測する(井田秀行/信州大学) …	7

【こんなことやってるよ】国際学生ゼロカーボン会議 …	8
12年目をむかえる「夏鳥の初認・初鳴き調査」…	9
【Report】「信州自然講座」「きずなフォーラム」合同開催 …	10
山と自然のサイエンスカフェ@信州 …	11
【お知らせ】令和4年度 イベント案内 …	12